

平成18年11月

## 総務委員会会議録

平成18年12月1日（金曜日）

午前10時00分から

午前11時11分まで

市役所 第3会議室

出席委員（6名）

委員長	高 間 信 雄 君	副委員長	水 野 正 光 君
	宮 島 一 君		山 本 誠 君
	小 池 昭 夫 君		大 脇 伸 孔 君

\*\*\*\*\*

欠席委員（なし）

\*\*\*\*\*

職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局 長 長谷川 勲 君

\*\*\*\*\*

+

説明のため出席した者の職・氏名

市長公室長	山 澄 俊 明 君	総務部長	服 部 良 弘 君
消 防 長	松 田 一 雄 君	秘書広報課長	宮 島 敏 明 君
企画調整課長	酒 井 美 彦 君	総務課長	大 鹿 俊 雄 君
総務課主幹	可 児 惺 君	税 務 課 長	舟 橋 始 君
税 務 課 主 幹	丹 羽 忠 明 君	収 納 課 長	和 嶋 博 從 君
収 納 課 主 幹	掛 布 光 枝 君	情報管理課長	北 折 光 治 君
庶 務 課 長	河 村 光 雄 君	消 防 署 長	日 比 野 一 博 君
消防防災課長	小 川 政 男 君	消 防 署 主 幹	渡 邊 達 郎 君
会 計 課 長	岩 田 敏 己 君	監査事務局長	野 木 森 鉦 二 君

\*\*\*\*\*

午前10時00分 開議

水野副委員長 それでは総務委員会を開催させていただきます。ただいまの出席委員は6名全員でございます。

定足数に達しておりますので、直ちに総務委員会を開会いたします。

本委員会に付託されました案件は、付託議案一覧表に記載のとおり、第89号議案 犬山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について、第90号議案 犬山市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部改正について、第95号議案 平成18年度犬山市一般会計補正予算（第4号）、第1条の第1表 歳入歳出予算補正中、歳入 総務委員会の所管に属する歳入、歳出 1款議会費、2款総務費（1項 総務管理費のうち13目交通防犯対策費及び3項戸籍住民基本台帳費を除く）、8款消防費、第2条の第2表 地方債補正、承認第1号専決処分の承認を求めることについて（平成18年度犬山市一般会計補正予算（第3号））、以上であります。

お諮りいたします。

付託議案の審査の方法については、まず1議案ごとに当局の説明を受け、その都度質疑を行い、全付託議案の疑終了後、討論・採決を行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

水野副委員長 異議なしと認め、さよう決しました。

最初に、第89号議案を議題といたします。

当局の説明を求めます。

河村消防庶務課長。

河村消防庶務課長 （第89号議案説明）

水野副委員長 説明は終わりました。

続いて質疑を行います。

ご発言を求めます。

〔「なし」の声起こる〕

水野副委員長 質疑なしと認め、第89号議案に対する質疑を終わります。

次に、第90号議案を議題といたします。

当局の説明を求めます。

河村消防庶務課長。

河村消防庶務課長 （第90号議案説明）

水野副委員長 説明は終わりました。

続いて質疑を行います。

ご発言を求めます。

〔「なし」の声起こる〕

水野副委員長 質疑なしと認め、第90号議案に対する質疑を終わります。

続いて、第95号議案を議題といたします。

当局の説明を求めます。

大鹿総務課長。

大鹿総務課長 （第95号議案歳入説明）  
水野副委員長 宮島秘書広報課長。  
宮島秘書広報課長 （第95号議案歳入説明）  
水野副委員長 宮島秘書広報課長。  
宮島秘書広報課長 （第95号議案歳出説明）  
水野副委員長 舟橋税務課長。  
舟橋税務課長 （第95号議案歳出説明）  
水野副委員長 河村消防庶務課長。  
河村消防庶務課長 （第95号議案歳出説明）  
水野副委員長 説明は終わりました。  
続いて質疑を行います。  
ご発言を求めます。  
暫時休憩いたします。

午前10時20分 休憩

再 開  
午前10時23分 開議

水野副委員長 休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

小池委員。

小池委員 11ページの雑入の、先ほどの雇用保険料の本人負担分ですが、これ何名対象にな  
ってるんですか、わかりますか。

水野副委員長 宮島秘書広報課長。

宮島秘書広報課長 試算としては、310名を試算しております。

水野副委員長 小池委員。

小池委員 今、市の方でパートさん、すべて入れると一体何名ぐらい雇用されているかお聞  
かせください。

水野副委員長 宮島秘書広報課長。

宮島秘書広報課長 臨時職員につきましては、いろいろ職務の関係で非常に身分が異動しま  
すので、ことしの4月1日現在の数字でお答えさせていただきます。

嘱託員、文化史料館の館長とか、これは報酬から払っている人ですが、この人は33人です。  
あと、一般の正規職員と同じ雇用形態ですね、フルタイムで働いている臨時的任用職員が59  
人おります。それからあと、短時間で、いわゆるパート職員が449人。合わせまして541人で  
す。

パートさんにつきましては、本当に実際に働いてみえる時間がさまざまです。極端な話、  
1時間の人がありますし、2時間、3時間の人もありますし、その人も1人ずつ入ってます  
ので。

水野副委員長 高間委員。

高間委員 先ほど、37ページ、第1分団の消防車庫改修工事300万円と、休憩中にも聞きましたんですけど、23年もたち、そういう漏水やらということでの改修だと思います。私たち、この前総務委員会の視察で、仙台市と盛岡市、それらは防災センターということで、同じテーマで2カ所で聞いたんですけど、仙台市は100万人都市です、それから盛岡市は30万都市ということで、防災センターのかかわりを少しお尋ねしたんですけど、やはり100万人都市の仙台市は、そういう防災センター、現実にとっているんですけど、やはり管理の部分で、町会長やら、そういう町内単位で管理してもらおうようにしてる。そういうときには、緊急時には、やはりかぎがないとか、いろいろなトラブルが発生するとか、やはり管理上で無理があったんですね。盛岡市の方は、そういう中で消防団を上手に使い、管理は消防団単位で、そういうことで防災センターをつくってありました。これはやはり備蓄倉庫も含めて、そういうのを各地、結構面積は、犬山市の10倍ぐらい広いので、そういうふうに広げて、そういうふうで防災センターを含めながら、消防団の倉庫がコミュニティと一緒につくられて管理されてましたので、ちょうど犬山市の消防団倉庫にしても、どこも結構きつい、車を入れるだけの感じでやられていますし、消防団の力は結構力がありますので、そういう地域と連携がとれるような形のコミュニティ防災センター、消防団車庫も含めて、これからつくりかえる時期が来てるんじゃないかなと思いますけど、そこら辺のこと、そういう思いがあればお示ししていただきたいなと思います。

+

水野副委員長 河村課長。

+

河村消防庶務課長 今、そういうお話聞いて、今のところはそういう計画ございませんけども、現状としては、今の施設は大変手狭ですので、ポンプ車を入れて、あとは待機室の会議室だけですので、今おっしゃったように、町内と一緒に、新防災センターのような、一緒に併設するような施設づくりというのは、今後は課題として、づくり替え、また建て替え等になったときには、そういうものを考慮してやっていくというのが今後の考え方だと思いますけども、もう一方は、まだ広域という問題をまた抱えておりますので、そういう中でもやっぱり検討していくしかないかなというふうに思っております。

参考意見として、またとらえていきたいと思います。

水野副委員長 高間委員。

高間委員 防災センター、多分これも国の補助を受けて、使ってると思いますが、何かそんなものあるんだと思いますけれど、そこら何かわかる部分でお願いします。

水野副委員長 河村消防庶務課長。

河村消防庶務課長 今のところ、そういうセンターの補助というのは示されてはいないと思いますけれども、ただ、防災拠点づくり、これについては示されているかなと思いますが。詳しくは総務課とも連絡せないかんですけど、総務課が窓口になりますので、よろしくお願いします。

水野副委員長 山本委員。

山本委員 私は退職のことなんですけど、ちょっとお聞きしたいんですけども、今回34名の方ですか、退職されるということで、それが当初の計画の中で、想定外であったかどうかとい

うことと、それから多くの方がやめられる中で、やっぱり再任制度というんでしょうかね、技術のある方がやめられていくということは、市にとって大きなマイナスになっていくという部分を感じますので、そういう再任制度そのものについて、どういう形できちっと話をされてるのかどうか、そのあたりをちょっと説明していただきたいと思います。

水野副委員長 宮島秘書広報課長。

宮島秘書広報課長 まず、人数の想定内か想定外かということですが、正直申しまして、ちょっと人数が多かったです。ただ、勸奨の方は、50歳以上、25年以上の勤続の職員になりますので、一応大量退職ということで、基金等を積んでおるんですが、その範囲内の方が前もってやめられるという形になりますので、前倒し的に退職をされると、こういうような形になっておりますので、その点については、一応想定内ということになるかと思います。

あと、その後の再任用等のことですが、再任用については、一応退職される方に、毎年、定年退職の方だけなんですけど、再任用の希望を聞いておりまして、希望される方については、職場をあてがうようにというか、そのように計画をしております。ただ、ちょっと傾向として、希望される方がことは少ないです。来年以降、来年が26人予定ですので、定年がですね、こういった方がどれだけの人が希望されるのかというところで、また再任用制度も、少し根本的に考えないかなかと、このように思っております。

こういった大量退職に伴いまして、市民サービスの低下ということは当然考えていかないかんことなんですけども、これにつきましては、現行にいる職員の資質向上を図るということで、現在、人材マネジメント委員会という委員会をつくりまして、人材育成の基本方針等を定めて、こういった中で、人材をいかに育成していくかということを検討している状況でありますので、よろしくお願いします。

水野副委員長 山本委員。

山本委員 あともう1点、先ほど、パート職員が相当数、541人ですか、お見えになるということで、今、パート職員に関しましては、ただ一般職と同じぐらいな業務をされている方が多々いると思うわけで、そういう方の正規職員への登用については、どういうお考えがあるのか、お聞かせください。

水野副委員長 宮島秘書広報課長。

宮島秘書広報課長 これ非常に難しい問題がありまして、パートさんにつきましては、本来は正職員と同じような仕事ではなくて、もう少し、単純な、そういった作業をお願いすることなんですけども、中には、実際、パートさんといいますか、臨時的任用職員の方ですね、こういった方で正規職員と同じような職務をやっていただいている方もあります。この方をどうしていくかということが非常に大きな問題になるわけなんですけども、やはり全体的に正規職員の削減というのが全国的に進められておりまして、犬山市においても第4次の定員適正化計画つくって、今後5年間におよそ26人ぐらい削減をするというような計画をつくっております。そのまま行けるかどうかわかりませんけども、そういった計画もありまして、なかなかそういうパートさん等、臨時職員さんの雇用というものが、またこれ年齢もいろいろ、さまざまでありまして、非常に難しいところがあるわけです。ちょうど、これ新聞で、きのうですか、中日新聞にパートの正社員化促進というような、国の方で検討がなされるよ

うなことが載っておりましたんですが、こういった形が全国的に、民間に対して特に、企業に義務づけというようなことで載っております。そんなような状況がありますので、意識はしております。

水野副委員長 他に質疑ございませんか。

〔「なし」の声起こる〕

水野副委員長 質疑なしと認め、第95号議案に対する質疑を終わります。

次に、承認第1号を議題といたします。

当局の説明を求めます。

大鹿総務課長。

大鹿総務課長 （承認第1号説明）

水野副委員長 説明は終わりました。

続いて質疑を行います。

発言を求めます。

暫時休憩いたします。

午前10時38分 休憩

再 開

午前11時08分 開議

水野副委員長 休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

承認第1号の質疑を行います。

質疑ございませんでしょうか。

〔「なし」の声起こる〕

水野副委員長 質疑なしと認め、承認第1号に対する質疑を終わります。

これをもって全議案に対する質疑を終結いたします。

続いて討論を行います。

討論を省略することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

水野副委員長 ご異議なしと認め、討論を省略いたします。

続いて採決を行います。

最初に、第89号議案を採決いたします。

第89号議案 犬山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正についてお諮りをいたします。

本案は原案のとおりこれを決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

水野副委員長 ご異議なしと認め、第89号議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、第90号議案を採決いたします。

第90号議案 犬山市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部改正についてお

諮りをいたします。

本案は原案のとおりこれを決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

水野副委員長 ご異議なしと認め、第90号議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、第95号議案を採決いたします。

第95号議案 平成18年度犬山市一般会計補正予算（第4号）、第1条の第1表 歳入歳出予算補正中、歳入 総務委員会の所管に属する歳入、歳出 1款議会費、2款総務費（1項総務管理費のうち13目交通防犯対策費及び3項戸籍住民基本台帳費を除く）、8款消防費、第2条の第2表 地方債補正についてお諮りいたします。

本案は原案のとおりこれを決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

水野副委員長 ご異議なしと認め、第95号議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、承認第1号を採決いたします。

承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（平成18年度犬山市一般会計補正予算（第3号））についてお諮りいたします。

本案は原案のとおりこれを承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

水野副委員長 ご異議なしと認め、承認第1号は原案のとおり承認すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました議案はすべて議了いたしました。

これをもって委員会を閉じます。

午前11時11分 閉会

本委員会の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

総務副委員長

+

本委員会に付託（送付）された事件及び審議結果

議案番号	件 名	付託(送付)年月日	審議結果	審査年月日
第89号議案	犬山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	平 18.11.30	原案可決 (全員一致)	平18.12. 1
第90号議案	犬山市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部改正について	〃	原案可決 (全員一致)	〃
第95号議案	平成18年度犬山市一般会計補正予算（第4号）	〃	原案可決 (全員一致)	〃
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (平成18年度犬山市一般会計補正予算（第3号）)	〃	原案承認 (全員一致)	〃

+

+

+